

令和元年度

横浜市動物愛護管理業務実施結果

- 1 災害時のペット対策
- 2 地域猫活動支援事業
- 3 動物の愛護・適正飼育普及啓発事業
- 4 猫の不妊去勢手術推進事業
- 5 マイクロチップ装着推進事業
- 6 犬、猫等の引取り・保護収容業務
- 7 収容動物の譲渡事業
- 8 狂犬病予防事業動物
- 9 動物取扱業登録及び監視指導
- 10 特定動物飼養保管許可及び監視指導
- 11 附属機関・他機関等との連携

1 災害時のペット対策



災害時のペット対策について市民の皆さまに広く知っていただくとともに、各地域防災拠点における災害時のペット対策の具体的な計画づくりやペットの同行避難実施のための支援を行いました。

(1) ペットの防災関連展示等実施状況

平成29年度：17区（鶴見、神奈川、中、南、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、金沢、港北、緑、青葉、都筑、戸塚、泉、栄、瀬谷）

平成30年度：17区（鶴見、神奈川、西、中、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、金沢、港北、緑、青葉、都筑、戸塚、泉、栄、瀬谷）

令和元年度：18区（全区）

(2) ペットの同行避難訓練実施状況

平成29年度：13区24拠点、延参加人数 5,951人、延参加動物数124頭
（鶴見、神奈川、中、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、金沢、港北、緑、青葉、泉、瀬谷）

平成30年度：12区30拠点、延参加人数 7,876人、延参加動物数138頭
（鶴見、神奈川、中、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、港北、緑、青葉、都筑、瀬谷）

令和元年度：11区26拠点、延参加人数6,881人、延参加動物数70頭
（鶴見、神奈川、西、中、港南、保土ヶ谷、旭、磯子、港北、青葉、瀬谷）

2 地域猫活動支援事業



「横浜市猫の適正飼育ガイドライン」（平成25年横浜市）の趣旨に基づき、飼い主のいない猫に起因するトラブルを減らすとともに、飼い主のいない猫を減少させていくことを目的として、地域猫活動支援事業を平成30年4月より実施しました。

◎ 登録状況等（令和元年3月末）

平成30年度：3区7地域（神奈川区、戸塚区、泉区）、手術実施頭数 32頭

令和元年度：6区12地域（神奈川区、南区、港南区、戸塚区、泉区、瀬谷区）、手術実施頭数 73頭

3 動物の愛護・適正飼育の普及啓発事業



飼い主のマナー向上や、終生飼育の普及啓発を推進し、動物の愛護と適正な飼育についての関心と理解を深めるため、動物愛護センター及び各区で啓発事業を実施しました。

(1) ホームページ、チラシ等による市民への情報提供

ホームページや「広報よこはま」への掲載及び各種普及啓発チラシを活用し、動物愛護に関する様々な情報提供を行いました。

(2) 動物愛護センターでの啓発事業

◎ 適正飼育啓発

- ・ 犬・猫セミナー 【 4回 203人】

飼い犬・猫のしつけやお手入れ、医療、地域猫等についての講習、

- ・ 適正飼育啓発事業 【 2回 25人】

犬や猫の飼い主に対し、しつけや健康管理、高齢動物の介護など、適正飼育に関する啓発事業を実施

◎ 愛護普及啓発

- ・ 動物愛護フェスタ 【 9月23日 荒天のため中止】

動物愛護週間に合わせて行う動物愛護啓発イベント

- ・ こども向け啓発事業 【 3回 226人】

こどもアドベンチャー、夏休み自由研究、

- ・ 動物愛護啓発事業 【 16回 698人】

◎ その他

- ・ 防災関係普及啓発 【 1回 50人】

災害時のペット対策、同行避難等防災関連の普及啓発を行いました。

(3) 各区での啓発事業

- ◎ 小中学校等学校での愛護普及啓発事業 【 5回 265人】

- ◎ 飼い主への適正飼育普及啓発 【 48回 2,215人】

愛犬マナー教室、猫の屋内飼育、犬猫の健康管理等

- ◎ 町内会、地域防災拠点への啓発 【 242回 27,999人】

ペット防災啓発、飼い主のいない猫に関する説明会等

(4) 動物に関する相談などについて

本市には、動物の飼育に関する様々な相談などが寄せられます。個々に対応するとともに、動物の適正飼育やマナー向上等を推進しました。

◎ 犬の苦情等件数の推移

		H29 年度	H30 年度	R 元年度
苦情等内容件数		2,005 件	2,110 件	1,975 件
内訳	野犬等保護	120 件	125 件	50 件
	放し飼い	101 件	108 件	70 件
	ふん尿	1,202 件	1,149 件	1,223 件
	鳴き声	232 件	216 件	173 件
	身体・器物の被害	110 件	111 件	112 件
	不適切な取扱い・虐待	67 件	82 件	87 件
	登録・注射に関すること	78 件	170 件	147 件
	その他	95 件	149 件	113 件

◎ 猫の苦情等件数の推移

		H29 年度	H30 年度	R 元年度
苦情等内容件数		2,260 件	2,306 件	1,956 件
内訳	ふん尿	733 件	767 件	601 件
	臭気・毛	56 件	84 件	57 件
	鳴き声	37 件	46 件	40 件
	身体・器物の被害	85 件	95 件	83 件
	不適切な取扱い・虐待	65 件	55 件	66 件
	収容に関する相談	721 件	672 件	507 件
	その他	563 件	587 件	602 件

4 猫の不妊去勢手術推進事業



飼い主のいない猫を減らすため、不妊去勢手術費用の一部補助を行いました。

令和元年度補助の内容

飼い主のいない猫の不妊去勢手術費用の補助：一頭につき 5,000 円

◎ 猫の不妊去勢手術推進事業の実績（頭数）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
実績頭数	4,098	3,922	3,884

※ 平成 29 年より補助の対象から飼い猫及び飼い猫にする猫を除外し、飼い主のいない猫のみとした。

5 マイクロチップ装着推進事業



迷子になったペットが飼い主の元にもどるために有効なマイクロチップ装着費用の一部を補助しました。

令和元年度補助の内容

マイクロチップ装着費用の補助：500 頭を対象に一頭につき 1,500 円

◎ マイクロチップ装着推進事業の実績（頭数）

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
犬	100	144	140
猫	301	388	397
計	401	532	537

6 犬、猫等の引取り・保護収容業務



◎ 犬の収容頭数、返還数、譲渡数及び致死処分数等

		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
収容頭数	総数	324	271	294	231	150
	飼い主不明犬	230	223	182	167	94
	飼えなくなった犬	87	44	107	59	50
	傷病犬	7	4	5	5	6
返還数		172	165	138	110	72
譲渡数		110	76	101	88	54
致死処分数		40	36	29	30	28
自然死		2	0	4	2	4
死体搬入		3	3	0	0	0

◎ 猫の収容頭数、返還数、譲渡数及び致死処分数等

* カッコ内は 91 日齢未満の幼猫の頭数 (内数)

		H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度	R 元年度
収容頭数	総数	1,372 (960)	1,306 (938)	1,179 (772)	948 (640)	906 (564)
	飼い主不明猫	797	710	588	492 (462)	443 (431)
	飼えなくなった猫	87	96	185	105 (21)	138 (14)
	傷病猫	488	500	406	351 (157)	325 (119)
返還数		17 (1)	15 (3)	16 (4)	13 (2)	6 (0)
譲渡数		519 (235)	521 (308)	483 (294)	378 (251)	417 (244)
致死処分数		514 (384)	404 (266)	387 (234)	332 (215)	250 (139)
自然死		109 (53)	134 (90)	116 (84)	89 (54)	83 (49)
死体搬入		209 (77)	225 (96)	179 (67)	138 (53)	161 (57)

7 収容動物の譲渡事業



譲渡は、動物愛護センターから個人へ直接譲渡する個人譲渡のほか、動物愛護センターから譲渡を受けた団体が個人への譲渡を行う団体譲渡、公益社団法人横浜市獣医師会会員の動物病院を経由した譲渡など、様々な方法で譲渡を進めました。

(1) 平成 29 年度から令和元年度までの譲渡実績

	平成 29 年度				平成 30 年度				令和元年度			
	譲渡数	譲渡内訳			譲渡数	譲渡内訳			譲渡数	譲渡内訳		
		個人	団体	獣医師会		個人	団体	獣医師会		個人	団体	獣医師会
犬	101	6	92	3	88	3	82	3	54	2	48	4
猫	483	74	183	226	378	42	148	188	417	76	183	158
その他	2	1	0	1	14	12	1	1	5	3	0	2

* 譲渡団体登録数 30 団体 (令和 2 年 3 月 31 日現在)

(2) 譲渡前講習

譲渡を希望される個人の方に対し、正しい飼育方法や飼育に関する基本的なマナー、関係法令、動物由来感染症等に関する講習を実施しました。

犬	個別講習	2 組	2 人
猫	個別講習	84 組	182 人
その他	個別講習	5 組	11 人

8 狂犬病予防事業



狂犬病の発生やまん延を予防するため、狂犬病予防法に基づく犬の登録・狂犬病予防注射の必要性、飼い主の義務について広く市民にお知らせし、犬の登録と注射の実施の促進を図りました。

◎ 横浜市の登録犬の狂犬病予防注射接種率の推移

	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
登録数	177,016	175,366	173,827
注射済票交付数	133,472	130,264	127,905
接種率	75,4%	74,3%	73,6%

9 動物取扱業の登録及び監視指導



動物愛護センター及び各区福祉保健センター生活衛生課が、登録業務や監視を行い、施設の状況、取扱う動物の管理の方法等を確認しました。

◎ 第一種動物取扱業 登録数及び監視件数の推移

年度	登録 施設数	業種別登録数						登録数計	施設 検査数	指導 施設数
		販売	保管	貸出し	訓練	展示	譲受 飼養			
平成 29 年度	1,326	398	987	44	207	55	5	1,696	596	206
平成 30 年度	1,327	385	993	48	212	65	6	1,709	467	164
令和元年度	1,412	404	1,054	54	220	78	5	1,815	470	151

◎動物取扱責任者研修

実施回数：5回 内容：ペットに関する苦情及び相談

10 特定動物の飼養保管許可



人の生命、身体又は財産に害を加えるおそれがある動物として定められている特定動物を市内で飼養するには市長の許可が必要です。

令和元年度にはアメリカドクトカゲ、ボアコンストラクターなど新たに14件の許可を行いました。

◎特定動物の飼養許可状況について（令和2年3月31日現在）

種類	霊長目		食肉目		長鼻目		奇蹄目		偶蹄目		ダチョウ目	
	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数
施設数等	5	102 (0) *	8	64 (8)	2	5 (0)	2	6 (0)	3	9 (0)	0	0 (0)
種類	タカ目		カメ目		トカゲ目		ワニ目		合計			
	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所	頭数	箇所**		頭数	
施設数等	2	4 (0)	10	13 (7)	12	34 (19)	11	20 (8)	32		257 (42)	

* 頭数の（ ）は、愛がん目的の飼養頭数になります。その他の目的には、販売、展示、試験研究等があります。

**箇所の合計は、対象施設数です。

11 附属機関、他機関等との連携



◎人と動物との共生推進よこはま協議会

横浜市の動物の愛護および管理に係る施策や横浜市動物愛護センター事業計画などに関して審議していただき、活動を支援していただいております。

【 会議の開催回数 2回 】

◎人と動物との共生推進よこはま協議会 動物愛護センターの施設活用検討部会

令和元年度より新たに部会を設置し、センターの施設活用についてのご意見を伺いました。

【 部会の開催回数 2回 】

◎横浜市動物適正飼育推進員

おもに犬・ねこ等の適正な飼い方を薦めることを目的とし、飼い主に対する飼い方のアドバイスなど、区役所と連携して地域に密着した活動を行っています。

【 横浜市動物適正飼育推進員 71人（令和2年3月31日現在） 】

◎市民ボランティアについて

現在、「人と動物との共生推進よこはま協議会」の推薦を受けた方や公募により登録をした方々に、譲渡対象の犬や猫の飼育管理のお手伝い等をしていただいております。

【 市民ボランティア登録数 53人（令和2年3月31日現在） 】

活動実績

哺育ボランティア： 29回 64頭